



島根大学附属図書館概要

Outline of Shimane University Library

理念

Philosophy

島根大学は、社会の発展と進歩に貢献するため、豊かな人間性と専門性を身につけた人材の養成を使命とし、創造性ある研究の促進や地域連携を推進しています。（「島根大学憲章」より）

附属図書館は、島根大学における学修、教育、研究を支援するための基盤施設として学術情報の収集、提供に努め、また、地域や国際社会との連携をすすめ、地域に根ざし、社会に貢献できる図書館を目指します。

目標 Purpose

1 学修・教育支援のための資料と環境の整備

学生の学修を支援するため、充実した資料と学修環境を整備し、人格を育む教育を目指して、学内の教育研究プログラムと連携した教育支援を行います。

2 研究支援のための学術情報整備

多様な分野の特色ある高度な研究を支援するため、国内外の学術情報の収集整備に努め、これらを効率的に利用できる電子図書館機能を充実します。

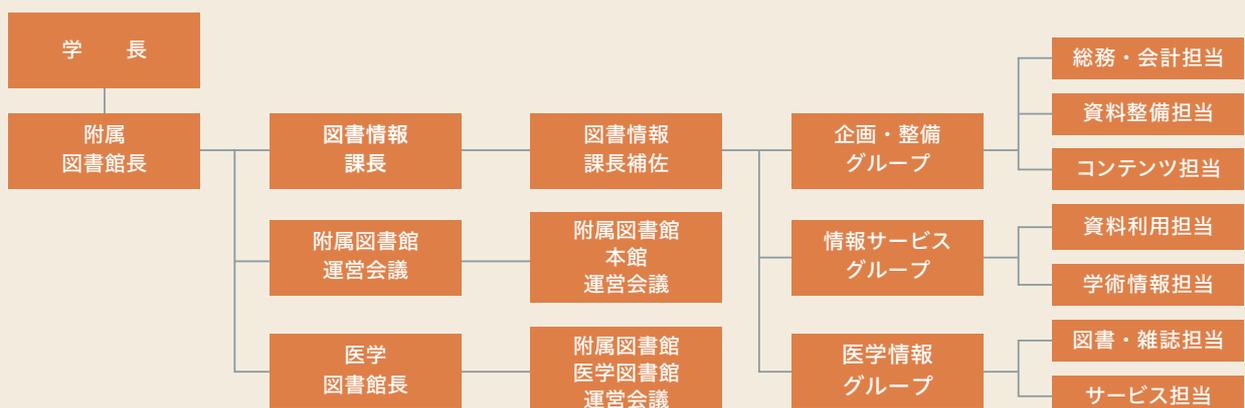
3 地域の学術情報拠点としての連携協力

地域の特性と大学の特色を生かした企画、運営をすすめ、地域の学術情報拠点として、資料提供、連携企画、情報発信等を積極的に行います。

4 学術コミュニケーションへの貢献

本学の研究成果や貴重資料を世界に向けて発信し、学術コミュニケーション活動に貢献します。

組織図 Organization Chart



2017.3 現在

沿革抄

History

- 1949.5 島根大学開学
包括校(松江高等学校、島根師範学校、
島根青年師範学校)の機能を引継ぎ、
附属図書館発足
- 1965.3 附属図書館及び人文社会科学研究室
棟を新築
- 1967.10 島根県立島根農科大学の国立移管に
伴い、図書を移管
- 1978.1 附属図書館を新築し、移転
- 1984.12 附属図書館を増築
- 1995.10 Webページ公開
- 2001.4 遺跡資料室を設置
- 1975.10 島根医科大学開学
- 1976.4 仮校舎に附属図書館開館(翌月本校舎
へ移転)
- 1979.3 附属図書館を新築
- 1989.4 開館時間外特別利用(24時間開館)
開始
- 1990.2 島根県医療関係機関等図書館(室)
懇談会設立
- 1995.4 Webページ公開
- 2003.2 セミナー室を設置
- 2003.10 島根大学と島根医科大学が統合
附属図書館は本館と医学分館の2館となる
- 2006.1 本館にて第1回図書館蔵書リユース市開催
- 2006.2 本館にて情報メディアルーム、第2貴重資料
室、八雲文庫室を設置
医学分館にて大森文庫室を改修
- 2007.4 島根大学学術情報リポジトリ「SWAN」公開
- 2007.6 平成19年度国立大学図書館協会賞受賞
- 2007.12 医学分館の耐震改修工事完了
- 2008.5 全国遺跡資料リポジトリ・プロジェクト始動
- 2008.6 本館にて「ブック★コンパス」開始
- 2008.10 デジタル・アーカイブの提供開始
- 2010.4 医学分館を医学図書館と名称変更
- 2010.10 本館にて図書館コンシェルジュ活動開始
- 2011.9 第1回学生協働交流シンポジウム開催
- 2013.2 本館の耐震・機能改修工事完了
- 2013.4 大学組織の機構化により、学術情報機構の下
に附属図書館を再編
- 2013.6 島根県図書館協会設立
- 2013.12 本館にて「ひとたなブックス」開始
- 2014.6 平成26年度国立大学図書館協会賞受賞
- 2015.10 英語版Webページ公開
医学図書館にて「ブック★コンパス」開始
- 2015.11 本館にて「ただ日本語で話さだけ」開始
- 2016.1 本館にて第1回「ラーコモカフェ」開催
- 2016.4 機構化の見直しにより、附属図書館単独の組
織に再編
- 2016.11 しまね地域資料リポジトリGo-GURa公開
- 2017.1 本館にて地域コミュニティラボ開設

*p.6も参照

character



島根大学附属図書館マスコットキャラクター
(左から)みいなちゃん、ライム博士、けんさくくん

学修・教育の支援 To Support Learning and Education

所蔵資料の提供

本学の学生・教職員は、本館と医学図書館を合わせて、図書約95万冊、雑誌約1万5千タイトルを利用することができます。書庫一部は開架式で、実際に手にとって選ぶことができます。「ブック★コンパス」や「ひとたなボックス」などのコーナーではテーマ別に図書を展示して、図書との“出会いの場”の提供も行っていきます。

学習環境の整備

図書館では、閲覧室で個々に学習できるほか、グループで学習する学生のために、個室の貸出を行っています。

本館では、ラーニングcommonsを設けています。ここは従来の静かな図書館のイメージとは異なり、仲間との意見交換や、ホワイトボードなどを使った討論をすることができる場です。イベント会場としても機能し、ゲストスピーカーとの座談会企画「ラーコモカフェ」や留学生と日本語で交流する「ただ日本語で話すだけ」等が継続して開催されています。

医学図書館では、ICカードによる認証を受けることで閉館後も24時間入館できます。



「ただ日本語で話すだけ」の様子
(本館/ラーニングcommons)

ガイダンスの実施

学部1年生に対しては全員に図書館ガイダンスを実施しています。このほかにもデータベースの利用方法などのテーマで講習会を開催しています。



「文献検索講習会」の様子
(医学図書館)

学生協働

本学教育開発センターとの連携事業として、図書館コンシェルジュという名称で、学生スタッフが2010(平成22)年度から活動しています。学生がより利用しやすいようピアサポートを提供するとともに、学生目線での図書館サービスを企画します。「ラーコモカフェ」のほか、オープンキャンパスでのイベントもコンシェルジュが企画・実施しています。

2011(平成23)年度以降は、同様の取り組みを行っている近隣の大学と協力して、学生協働シンポジウムを年に1回開催しており、全国的にも注目を集めています。



「ラーコモカフェ」の様子
(本館/ラーニングcommons)

研究活動の支援 To Support Research Activity

電子資料の整備

電子ジャーナル7,000タイトル以上（2017年時点）が利用でき、電子ブックの整備も進めています。またWeb of Science等の文献検索データベースをはじめ、事典や新聞、各分野の専門的なデータベースも利用できます。

文献複写・現物貸借

当館に所蔵していない資料についても、本学の学生・教職員の求めに応じて、他大学等から取り寄せることで提供します。

電子図書館機能の充実

来館しなくても、学内の端末から電子ジャーナル等閲覧できる他、貸出延長や文献複写等の申し込みをすることができます。また出張先など学外からでも、リモートアクセスにより電子ジャーナル等を利用できるように整備しています。

学術コミュニケーション活動への貢献

To Contribute to Scholarly Communications

島根大学学術情報リポジトリ「SWAN」

本学の研究成果を学内外に向けて発信するために、機関リポジトリを運営しています。オープンアクセスの理念に基づいており、本学における研究活動だけでなく学術研究全体の発展を目指すものです。

デジタル・アーカイブ

当館が所蔵する貴重資料、及び地域の諸機関や個人が所蔵する文書や古典籍等を電子化し、保存・公開しています。これはオープンデータの理念に基づいています。

研究開発室

主に本学教員が室員として専門的な立場から、当館の蔵書や、地域の諸機関等が所蔵する資料の研究をしています。この成果はデジタル・アーカイブや、各種講演会、書籍等の形で公開されています。

全国遺跡資料リポジトリ・プロジェクト

入手が困難な資料である、遺跡の発掘調査報告書を電子化してWeb上で公開する取り組みを行っています。

この事業は2008（平成20）年度から2012（平成24）年度まで、国立情報学研究所の委託を受けて当館が代表機関として推進してきました。全国の国立大学図書館や自治体の協力のもと事業は拡大し、その成果は2015（平成27）年度に奈良文化財研究所が公開した「全国遺跡報告総覧」に引き継がれています。



島根大学学術情報リポジトリ「SWAN」

地域における学術情報拠点として To Contribute to Local Society

学外の方の来館利用

当館の蔵書は、学外の方も利用していただくことができます。館内での閲覧はもちろんのこと、所定の手続きの上で、図書の貸出も行っています。

県内図書館間での相互貸借

島根県立図書館が運用している、物流システムに参加しています。これにより、本学の学生や教職員が県内の公立図書館等の資料を無料で取り寄せることができるほか、当館に来館できない学外の方にも、最寄りの公立図書館を通して当館の資料をご利用いただけます。

県内病院図書室等との連携構築

島根県医療関係機関等図書館(室)懇談会(略称:医図懇)は、県内の病院図書室や医師会、医学系高等教育機関附属図書館等の22機関からなる組織です。1990(平成2)年に医学図書館(旧島根医科大学附属図書館)の呼びかけにより発足しました。年に1回の総会で研修や情報交換を行うほか、地域の病院関係者の方にも文献複写を通じて当館の資料を提供しています。

地域図書館ネットワークのあゆみ

- 1990.2 島根県医療関係機関等図書館(室)懇談会設立
- 2007.2 島根県立図書館、松江市立図書館と相互協力協定を締結
- 2007.11 島根県立大学出雲キャンパス図書館、出雲市立図書館と相互協力協定を締結
- 2008.4 島根県大学・高等専門学校図書館協議会設立
- 2013.6 島根県図書館協会設立

COC事業への参画

「地(知)の拠点整備事業」(COC事業)の一環として、しまね地域資料リポジトリ「GO-GURa」を運営しています。県内の行政機関や各種団体が発行する様々な資料を電子的に蓄積・公開する“電子書庫”を目指しているもので、全国初の取り組みです。本学が推進する「地域志向教育」の課題解決型授業(PBL)や、小中学校での調べ学習、個人による地域研究などへの活用が期待されています。

COC+事業への参画

「地域未来創造人材の育成を加速するオールしまね協働事業」(COC+事業)の一環として開催されている「しまね大交流会」で図書館の取り組みを紹介するブースを出展しています。また2016(平成28)年度からは館内に「地域コミュニティラボ」を開設しています。



「しまね大交流会」に出展した様子

県内の図書館や博物館等との連携

県内の図書館との連携強化を進めており、展示や講演会、職員研修等を合同で開催しています。また、県内の博物館等との連携も行っています。2014(平成26)年度からは5ヵ年計画で、手銭記念館と本学法文学部山陰研究センターと連携して出雲文化活用プロジェクトに取り組んでいます。

貴重資料(抜粋) Valuable Materials (Selected)

本館

■大智度論

全100巻のうち巻62と巻67を所蔵しています。1966(昭和41)年に島根県の有形文化財に指定されています。

■シーボルト授与の修業証書

現在の出雲市出身の医師西山砂保が1825(文政8)年から1826(文政9)年の医学修行を経て授与されたものです。

■堀尾期 松江城下町絵図

当館の絵図コレクションの中核をなす史料です(右図)。

医学図書館

■医範提綱内象銅版図

1808(文化5)年刊行『医範提綱』の付録であり、亜欧堂田善による日本最初の銅版解剖図として知られています。



堀尾期 松江城下町絵図

文庫コレクション(抜粋) Original Collections (Selected)

本館

■桑原文庫

島根県松江市出身の桑原羊次郎氏の旧蔵書及び自著、3,000点以上からなるコレクション。桑原氏は明治の先覚的な社会事業家であり、また浮世絵や彫金など美術工芸の研究者としても著名でした。

■堀文庫

島根県津和野町の堀幸清氏の旧蔵書、1,818冊からなる江戸小説のコレクション。これらは江戸から明治期にかけて津和野で営業した貸本屋の書籍群で、何らかの経緯で堀家に伝えられたものです。



桑原文庫 (一部)



大森文庫 (一部)

医学図書館

■大森文庫

島根県安来市の大森家旧蔵資料、約600冊からなる古医書コレクション。江戸時代後期に大森泰輔氏が学んだ華岡流医術や、出雲地域における医療活動の実態をうかがい知ることができます。

■西東文庫

1988(昭和63)年度購入の大型コレクション。

“Westernization of Japan”をテーマに蒐集された全827冊からなります。文庫名はゲーテの西東詩集に因んで命名されました。

本館 Main Library in Matsue



〒690-8504 島根県松江市西川津町1060
Tel (0852)32-6083 Fax (0852)32-6089

竣工：1978(昭和53)年1月17日
増築竣工：1984(昭和59)年12月25日
耐震・機能改修：2013(平成25)年2月28日
構造：鉄筋コンクリート造3階建、書庫8層
面積：6,834㎡
席数：594席

医学図書館 Medical Library in Izumo



〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1
Tel (0853)20-2090 Fax (0853)20-2095

竣工：1979(昭和54)年3月19日
耐震改修：2007(平成19)年12月20日
構造：鉄筋コンクリート造3階建
面積：1,819㎡
席数：267席



- Webページ：<http://www.lib.shimane-u.ac.jp/>
- Twitter：[@Shimadai_Lib](https://twitter.com/Shimadai_Lib)
- ブログ：<http://shimadai-lib.hatenablog.jp/>

